

巻頭言

『社会学部論叢』第25巻記念論文集の刊行に寄せて

社会学部長 佐藤 克繁

流通経済大学『社会学部論叢』は、社会学部創設（1988年）の3年後の1990年度に産声をあげ、本年度（2014年度）で第25巻（通巻50号）となりました。27年間の学部の歩みのなかに通巻50号に及ぶ「社会学研究」の軌跡を残すことができましたので、ここに本号を記念号として発刊致しました。関係各位に感謝するとともに、これを区切りとして新しい一步を踏み出すという期待感と使命感を抱いている次第です。

本社会学部は、「社会学科」と「国際観光学科」の2学科で構成されていますが、両学科に通底する基礎学問は「社会学」であり、両学科とも社会学を教育の基底に据え、それぞれの学科の特質に応じて心理学、観光学、社会福祉学、保育学等の関連領域の学問がそれを補完する形で学科の教育体制を組織しています。したがって、学科を構成する教員（研究者）スタッフの学問領域は多岐にわたっており、本論文集は学際的な特色を有しているといえるでしょう。

さて、『論叢』25周年記念を迎えるにあたり、本年度の25巻第1号（通巻49）では「総目次」を掲載し、これまでの社会学研究の歩みを確認しております。本号（通巻50号）においては、多くのスタッフが学術的成果を寄稿し、その結果「福祉と観光の労働社会学」と題する特集も組むことができました。編集スタッフの弁では、「あらかじめ」特集を組んだわけではなく、各人の研究の軌跡が一つの道筋として論集に結実し「期せずして」特集を組むことができたということでした。

また、本論集では、過去に取り組んだ二つの共同研究（『「障害者の高等教育』に関する調査研究』及び「グローバル化するアジア地域の観光（文科省科学科学研究費助成事業）」）を紹介しております。共同研究は、学部スタッフの横断的な問題意識の結実ともいえる点で貴重な研究であるといえます。前者の研究は、本学の障害学生の受け入れに対する貢献はもとより、我が国の障害（児）者教育の視野を一步広げ、障害者の〈生〉に途を拓いたという意味で貴重な研究であると考えられます。また、後者の研究は、混迷するアジア社会を観光の領域から解明した貴重な社会学研究であり、本学の国際観光

学科及び社会学研究科の教育に多大な貢献をなしています。

『社会学部論叢』は、ここに四半世紀を迎え、多くの学術的成果を残すことができました。これも社会学部を構成する先生の研究に対する真摯な思いと、関係各位の支援とが織りなした豊かな「実り」であるとする次第です。

本論叢を刊行するにあたり、社会学部のスタッフをはじめとする関係各位、編集を担当していただいた社会学部学術研究委員の皆様、また流通経済大学佐伯弘治学園長、小池田富男学長、出版会斎藤哲三郎氏に感謝を申し上げます。